

## (12) 大分県高等学校総合体育大会開催基準要項

昭和 50 年 4 月 日改正

平成 6 年 4 月 25 日改正

平成 9 年 4 月 23 日改正

平成 17 年 4 月 22 日改正

### 1. 趣 旨

大分県高等学校教育活動の一環として、高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高等学校生徒の育成と相互の親睦をはかる。

### 2. 実施方針

- (1) 大会の実施に当たっては、県教育委員会と共催し、円滑な運営を期するため、県体育協会、関係競技団体等、関係諸機関と緊密な連携をとり、協力を得ながら学校教育の配慮のもとに大会の充実を期する。
- (2) 県高校総体に関する県民の理解と協力を求めながら、県下高校スポーツの普及振興と競技水準の向上を図るとともに、強靱な身体と公正明朗な精神ならびに友情を育てるよう努める。

### 3. 主 催

大分県高等学校体育連盟 大分県教育委員会

### 4. 後 援

(公財)大分県体育協会 関係競技団体 関係市町 関係市町教育委員会 大分合同新聞社

### 5. 主 管

大分県高等学校体育連盟競技専門部

### 6. 大会の開催及び期間

- (1) 各競技の会場は、原則として大分・別府市とする。
- (2) 大会の開催時期は「5月下旬から6月上旬」とする。
- (3) 競技日数は3日間とし、5日を超えないことを原則とする。ただし、天候、災害、その他特殊事情のある場合は、高体連本部で別途審議する。

### 7. 大会運営

- (1) 大会の円滑な運営を期するため、競技専門委員会（抽選会）、大会1週間前に総監督会議を開催する。
- (2) 各競技の運営は、本連盟各専門部が、関係競技団体と連携しながらこれに当たる。

### 8. 大会の名称

第〇〇回大分県高等学校総合体育大会

### 9. 大会の内容

全国高等学校総合体育大会及び全九州高等学校体育大会の県予選を兼ねることができ  
る。

## 10. 実施競技

(1) 実施競技は次のとおりとする。

陸上競技・体操・水泳・バスケットボール・バレーボール・卓球・ソフトテニス  
 ハンドボール・サッカー・ラグビーフットボール・ソフトボール・相撲・柔道  
 剣道・弓道・登山・バドミントン・ボート・レスリング・テニス・自転車競技  
 ボクシング・ホッケー・ウエイトリフティング・ヨット・フェンシング・馬術  
 カヌー・なぎなた・アーチェリー・空手道・ゴルフ・ライフル射撃・ボウリング・  
 少林寺拳法 (計 35 競技)

(2) 競技方法は、学校対抗とする。

## 11. 大会役員の構成基準

区分 役員名	高 体 連	体育 協会	県教育委員会	競技 団体	開催地	報道関係	その他
名誉会長			教 育 長				
会 長	会 長						
副 会 長	副会長・支部長		体育保健課長				
顧 問	高校長協会会長 私学高校協会 会長	会 長 副会長	教育委員会教育委員 教育次長 総括調整監 教育改革企画課長	会長	市町村長 市教育長	各放送局 長 各新聞社 社 長 局 長	県知事 県議会議長 文教警察委員長 総務企画委員長 総務部長 生活環境部長 県市長会長 高 P 連会長 教職員団体委員長 競技団体会長 武道スポーツセンター長
参 与	加盟校校長	理 事	教育改革・企画・教育人 事・教職事務・高校教育・義 務教育・社会教育・福利・人 権司和教育・文化課・特別支 援教育・学校保健・安心支援 各課長	理事長		事業部長 運動部長	私学振興・青少年課長 大分市体育保健課長 別府市スポーツ健康 課長
大会委員長	理 事 長						
委 員	高体連理事 支部理事長		体育保健課 安全対策管理監 体育スポーツ振興監 各班総括				大分市体育保健課 参事 別府市スポーツ 健康課長補佐
総務委員	事務局保健体育 事務局員	部 長	体育保健課指導 主事				大分市体育保健課 別府市スポーツ健康課

## 12. 競技別役員の編成基準

区分 役員名	高 体 連	競 技 団 体	開 催 地
名 誉 会 長		競 技 団 体 会 長	
会 長	会 長		
副 会 長	副 会 長 専 門 部 部 長		
顧 問	会 場 校 校 長	各 競 技 団 体 副 会 長	議 会 議 長 助 役 教 育 長 報 道 関 係
参 与	加 盟 校 校 長	各 競 技 団 体 理 事 長	
委 員 長	専 門 部 委 員 長		
委 員	専 門 部 委 員	理 事	教 育 委 員 会 競 技 団 体 理 事
備 考	1. 開催地については必要があれば加える。 2. 報道関係については、その該当競技にのみ必要であれば加える。		

## 13. 大会参加資格〔（１）～（７）の改正は行わない。〕

- （１）参加者は、大分県高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
- （２）当該競技の全国高等学校総合体育大会、及び全九州高等学校体育大会の実施要項に定める資格の該当者であること。
- （３）年齢は、４月２日を起算とし、１９歳未満の者とする。ただし、同一学年での出場は１回限りとする。
- （４）チームの編成において、全日制と定時制及び本校と分校の混成は認めない。  
ただし、部員不足により単独校での参加が困難な場合は本校と分校の合同チームを認める。（上位大会への出場はできない。）
- （５）統廃合の対象となった学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。なお、部員不足に伴う複数校合同チームの大会参加について一定の条件を満たせば参加を認める。（ただし、県内大会までとする。）
- （６）参加選手はあらかじめ、健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- （７）転校６ヶ月未満（水泳は１年未満）の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準じる。）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により県高体連会長が許可する。
- （８）上記の条項に違反した場合、又は高等学校生徒として品位を保てないと認めた時は、理事会及び評議員会を経て出場を停止することができる。
- （９）参加資格の特例

ア・上記（１）に定める生徒以外で、（２）～（６）の大会参加資格を満たし、かつ、

大分県高等学校体育連盟が承認した生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ・上記（３）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回限りとする。

ウ・学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、３学年までの年齢 19 歳未満の者に限る。

（同一学年での参加は同一競技１回限り）

[大会参加の別途に定める規定]

１．学校教育法第 72 条、115 条、124 条、134 条の学校に在籍し、全九州高等学校体育大会・全国高等学校総合体育大会大分県予選大会に参加を認められた生徒であること。

２．以下の条件を具備すること。

（１）大会参加を認める条件

ア・全国・九州・大分県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ・参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。

また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ・各学校にあっては、県高体連の予選会から出場を認められ、九州・全国大会の出場条件が満たされていること。

エ・各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教師の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校に比べ著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

（２）大会参加に際し守るべき条件

ア・全国・九州・大分県高等学校総合体育大会開催要項基準を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ・大会参加に際しては、責任ある教師が引率するとともに、万が一の事故に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ・大会参加に要する経費については、応分の負担をすること。

◎応分の負担について

《対等の立場で参加させることを原則とする》

大会参加負担金として、エントリー選手一人につき 600 円（加盟校以外の生徒は一人につき 1000 円）

#### 14. 競技役員の委嘱基準

（１）競技役員は、大会参加校の教職員に委嘱することを原則とする。

（２）やむを得ず（１）の原則を超える場合は、会長の承認を得ること。

（３）（２）の場合は、できるだけ会場の近距離地域から順次委嘱することを原則とする。

#### 15. 生徒補助員

生徒補助員は、加盟校に所属する。ただし、委嘱は原則として参加校とする。

## 16. 各競技種目の実施要項

- (1) 実施要項については、専門部で作成し、前年度 2 月までに高体連事務局に提出するものとする。
- (2) 競技要項に記載する内容は次のとおりとする。
  - ア) 主催、後援、主管    イ) 実施時期    ウ) 会場    エ) 競技規定
  - オ) 競技方法    カ) 参加資格
  - キ) 参加制限    ク) 参加申込（申込方法、申込場所、申込期日、申込書）
  - ケ) 表彰    コ) 諸会議
  - サ) 組合せ及び抽選    シ) 連絡事項
- (3) 各競技種目の実施要項及び申込書は、県高体連のホームページからダウンロードする。

## 17. 参加申込み

当該学校長が学校医と連署の上、所定の様式により、高体連事務局あてに申込みものとする。

## 18. 大会参加負担金

大会参加負担金は次のように徴収する。

団体・個人の別を問わずエントリー一人につき 600 円を払う。（加盟校以外の生徒は一人につき 1 0 0 0 円）

## 19. 出場権の獲得

- (1) 県高校総体が全国・九州大会の予選を兼ねている競技については、団体第 1 位は全国大会の県代表権を獲得する。ただし、1 位が欠場する場合は 2 位を、以下順位に従って出場権を獲得する。
- (2) 団体 1 位、2 位は九州大会の競技要項により、県代表権を獲得する。ただし、1 位、2 位に欠場のある場合は 3 位を、以下順位に従って出場権を獲得する。
- (3) 個人についても、県高校総体が全国・九州大会の予選を兼ねている競技種目は、全国大会、九州大会の競技要項により、順位に従って県代表権を獲得する。
- (4) 全国大会、九州大会を個別に実施する競技種目は、県高校総体がその予選の一次予選とする。

## 20. 式典

- (1) 県高校総体の総合開会式は、大分市営陸上競技場で行い（荒天時—県立総合体育館）各競技種目エントリー選手の参加を原則とする。
- (2) 閉会式は、各競技種目会場で行う。
- (3) 開会式の式典役員については、大分支部体育担当者会議で決定する。

## 21. 表彰

競技種目別に、団体・個人ともに 3 位までの賞状授与を原則とする。

## 22. 大会標章

大会マークは高体連マークとする。

## 23. プログラム

- (1) プログラムは、競技種目別プログラムのみとする。
- (2) プログラムは、無料で配布することを原則とする。

#### 競技種目別プログラム

- ・高体連事務局－1部
- ・参加チーム－各1部
- ・競技役員－各1部
- ・報道各社－各1部

#### 24. 参加校選手団本部役員構成

- (1) 参加校選手団の役員は、団長及び総監督とする。
- (2) (1)の役員は、選手参加申込みと同時に事務局に届ける。

#### 25. 大会の経費

大会の準備及び運営のための経費は、県高校総体運営費と各競技別運営費の一部をもって充当する。

#### 26. 交 通

輸送については、できる限り大会参加者の参集及び競技に必要な交通上の利便を図る。

#### 27. 競技成績の報告

- (1) 各競技とも、大会終了後競技成績 1 部（全国大会、全九州大会出場決定者及び決定校）に戦評を付し、データで高体連事務局に提出する。なお、精算書は終了後 10 日以内に高体連事務局に提出する。

#### 28. 大会期間中の安全管理

大会運営に当たり、健康安全、傷害予防、応急処置について配慮する。

（公立高校以外の医療関係者に委嘱する。）

#### 29. 抽選及び組合せ

事務局立会いのもとに、各競技専門部で決定する。

### 細 則

大会式典順序は、おおむね下記の基準による。

#### (1) 総合開会式

- ア・役員・選手入場
- イ・開会宣言
- ウ・国旗掲揚
- エ・高体連旗掲揚
- オ・県旗掲揚
- カ・優勝旗返還
- キ・あいさつ（高体連会長、県教育長）
- ク・祝辞（知事）
- ケ・生徒代表あいさつ
- コ・選手代表宣誓
- サ・役員・選手退場

#### (2) 競技種目別の開会式は、総合開会式に準じて行う。

#### (3) 閉会式（競技別）

- ア・役員・選手入場
- イ・成績発表
- ウ・賞状及び優勝旗杯授与
- エ・競技部長あいさつ
- オ・国旗降納
- カ・閉会宣言
- キ・役員・選手退場